

原子力利用の発展
三一、三、二三

- 一、原子力利用発展基本計画 (1)
- 二、海外との連繫強化 (1)
- (1) 国際会議への参加 (7)
- (2) アイソトープ利用に関する国際会議 (4)
- (3) 技術者の海外留学 (4)
- (4) 原子力アタッシェの設置 (5)
- (5) 経営者チームの海外派遣 (5)
- (6) 外国人専門家の招聘 (7)
- 三、アイソトープ展覧会の開催 (7)

c111-015-035

一、原子力開発利用基本計画

わが国の原子力開発利用に関する計画としてはさきに、原子力利用準備調査会において、取敢えず立案したことがあるが、新しい原子力体制が整備され、權威ある原子力委員会が設立されたのによらない、新たに委員会を中心として、わが国将来の原子力開発利用の方針と手続を規定する基本計画を早急に検討審議の上決定する所存である。基本計画の策定に当っては、

- (1) 原子力委員会委員を中心として、参事及び新たに専門委員を任命してその意見を聴き立案するが尚
(2) 広く関係官庁及び日本学術会議、原子力産業会議等とも連絡して各方面の意見を聴くことゝ致したい。

としてわが国の実情と期待に即した基本計画の確立を図ることゝしたい。

二、海外との連繫強化

- (1) 原子力に関する国際会議

(1) 国連の国際原子力機関設置問題については現在ワシントンにおいて関係十二カ国が同機関の規程案を審議中であり、近く最終草案が決定されるはずである。伝えられるところでは、この最終草案を審議決定する同機関の設立総会が、本年九月または十月に開催されるよしであるので、わが国としては積極的にこれに参加し協力したい所存である。特に参加に際しては、同機関の運営上の中核機関である理事会に是れとも参加したい希望を有しており、右希望達成のため目下関係国に対し了解を求めている次第である。

(2) 国連の科学委員会については、すでにその第一回会議が去る三月十四日からニューヨークで開催されており、わが国からは都築、中泉西博士が代表として出席している。この会議は純粹に学術的、科学的な学者の会議であつて、わが国をふくめ十五カ国が参加している。わが国が国連に未加盟であるにもかかわらず、委員国に加えられたのは、広島、長崎、ビキニと原子爆の被害を身をもつて経験した特殊な事情が考慮されたものと思ふ。

この会議は今後三年間、大体年二回ずつ開かれる予定であり、本年中にもこの秋頃にオニ回会議が開催されることになつているので、わが国の豊富な資料を提供して積極的に協力したい所存である。

(3) アジア原子力センターに関しては、さきに昨年十月のコロンボ会議で米代表ホルスター国際協力局長から右の意向が表明されて以来、わが国としても、同センターの設置をわが国に誘致したいむね希望を申入れていたが、最近、これがフィリピンに置かれることに決定したとの米国の発表が行われたことは周知の通りである。これについては、米国からはもちろんフィリピン側よりも正式通報があり、同時にいすれもわが国の同センターへの参加協力方を要請してきている。わが国としてはアジア原子力センターがフィリピンに設置されるからも国際協力精神からできるだけの協力を行いたい所存である。近くセンター設置のための地域会議が開かれることであるので政府より代表を派遣し、わが国としての協力意思を申入れたいと考えている。

(2) アイントロプ利用に関する国際会議

アイントロプの積極的利用面の各国専門家による研究成果の発表、意見交換、展示品の供覧等がイギリス原子力公社の主催により隔年毎に開かれており、本年七月にも開催されることになっているので、わが国よりも、適当な専門家を派遣し、わが国における開発利用の成果を発表するとともに、各国の研究成果を吸収して、国内の利用促進に資することとした。

(3) 原子力関係技術者の海外留学

原子力の開発利用を促進するためには、まず何よりも技術者の養成が必要である。これについて国内でできるだけの措置をとるのは勿論であるが、特に、現在まで適当な養成施設が国内に存在しない現状にかんがみ、本年は海外留学生の派遣に重点をおき、技術者の至急養成を行いたい。すでに、関係官庁の留学希望調査は完了しており予算も六千二百万円ばかりとれているので、米、英、加、仏、西、独、オランダ、ベルギー、スイス等の諸国にできるだけ多くの技術者を留学せしめ、フランス、カナダ、ベルギー等の諸国にできるだけ多くの技術者を留学せしめたい。

しめたい所存で、その準備をすゝめていく。各国原子力施設に留学生受け入れを交渉するため近く原子力委員を派遣することも考えている。

(4) 原子力アタツシ工の設置

わが国がこれまでの原子力研究開発のおくれを取戻すためには、先進諸国の情勢を十分取入れて活用する必要がある。そのための一つの措置として、本年度には、まず、ワシントンおよびロンドンへ原子力アタツシ工として有能な技術情報官を駐在せしめることとした。これにより米、英、加、仏等の原子力開発利用に関する情報および資料が豊富にえられ、わが国の原子力開発計画推進上多大の効果をもたらすことが期待される。

(5) 経営者チームの海外派遣

他方またわが国の原子力産業を育成し、助長するため一つの方法として、主要原子力産業会社の首脳部をもってチームを編成し、米、英、加、仏等の先進諸国に派遣し、これら諸国の最新の原子力開発情勢を直接に感得するようにしたい。

という希望がある故に聞いているが、原子力に関する研究開発に民間の協力を得るためには経営の責任者の正しい認識と意欲が必要であることは当然であるので、極力應援したいと考えている。

(6)

(6) 外国人専門家の招聘

わが国の遅れた原子力開発利用促進を促進するための一つの手段として、本年度には海外先進国において実際に原子力開発利用に従事して来た著名なる専門家をわが国に招聘し、広く国内の学界、財界等の専門家と直接接触を行わしめ、原子力開発利用に関する忌憚なき意見交換を行えるような機会を作ることは極めてのぞましいと考える。招聘する専門家としては、たとえばさきに来日したイギリスの前燃料動力相ロイド卿の推薦にもとづく、回国原子力公社工業開発担当理事クリストファー・ヒントン卿、或はアメリカウオラム会長のウオーカーシラスター氏、アメリカ科学者ホフマン氏などが適当ではないかと考えている。

三、アイソトープ展覧会の開催について

原子力平和利用の一環としてのアイソトープの利用はわが国においても既に数年の実績をもち各試験研究機関における研究は勿論実用化の点でも相当な成績をあげているが、こうした実績が案外知られていない面もあるので、適当な時期にア

(7)

イソトープ利用の展覧会を開催して、

(イ) わが国のアイソトープの利用の実際について一般の啓蒙に資すると共に

(ロ) 研究機関或は産業界の相互啓蒙を計つて

アイソトープ利用の促進を図ることは極めて適切であると考えるのでその実現を

図りたい。